

スペック面での差別化が難しくなる中、価格競争に陥らないためのサーバ活用提案のポイントとは何か？

2013年版 中堅・中小企業におけるサーバ環境の実態と展望レポート

企業1000社への調査結果を元に「サーバ仮想化」「クラウドによる影響」「サーバ管理ツール」などの重要トピックを網羅

中堅・中小企業へのサーバ活用提案はスペックによる差別化が難しくなり、とすると価格競争に陥ってしまいがちです。さらに昨今はクラウド活用の進展による市場縮小を懸念する声も聞かれます。ですが、一方ではサーバ仮想化に対する認知も広まり、それに伴うマルチCPU/マルチコアの訴求、サーバ付属管理ツールの必要性など、サーバ拡販につながるトピックは数多く存在します。本レポートではユーザ企業1000社へのアンケート調査結果を元にクラウド時代にも通用するサーバ活用提案のポイントを明らかにしています。

調査対象とサンプル属性

- 対象企業年商： 5億円以上～10億円未満 / 10億円以上～30億円未満 / 30億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～200億円未満 / 200億円以上～300億円未満 / 300億円以上～400億円未満 / 400億円以上～500億円未満 / 500億円以上～1000億円未満 / 1000億円以上
- 対象職責： 以下いずれかの権限を持つ社員
- ・情報システムの導入/構築/運用/管理における意思決定権を持ち、経営にも直接関与する
 - ・情報システムの導入/構築/運用/管理における意思決定権を持つが、経営には直接関与しない
 - ・情報システムの導入/構築/運用/管理の計画を立案し、上層部の意思決定を仰ぐ
 - ・情報システムの導入/構築/運用/管理における実作業を担当する
- 対象業種： 組立製造業 / 加工製造業 / 流通業 / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / IT関連サービス業 / サービス業(IT以外) / その他
- 対象所在地： 北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方
- 従業員数： 10人未満 / 10人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1000人未満 / 1000人以上～3000人未満 / 3000人以上～5000人未満 / 5000人以上
- IT運用管理体制：
 - ・担当者は社員のみであり、全員が社内の専任部署(情報システム部門)に所属
 - ・担当者は社員のみであり、社内の専任部署(情報システム部門)と社内の他部署との兼任の混在
 - ・担当者は社員のみであり、全員が社内の他部署との兼任
 - ・担当者は社員のみであり、所属部署は決まっておらず、年齢やスキルなどに応じて 個別に選出
 - ・担当者は社員と社外の管理担当業者の混在
 - ・担当者は全て社外の管理担当業者
- サンプル数： 1000社(有効回答件数)
調査実施時期： 2013年1月～2月

[設問項目(1/3)]

S1系列.導入済サーバ活用の概況

S1-1. 導入済サーバ台数

S1-2. 導入済サーバの用途(いくつでも)

基幹系業務システム:

分析/出力系システム:

情報共有システム:

営業/顧客管理系システム:

基本情報インフラ:

部門内利用:

データベース利用:

社外情報システム:

認証管理システム:

簡易作成されたアプリケーション:

その他:

※各用途選択肢の具体例は以下の通りである。

人事/給与、購買/販売、会計、生産/調達、物流/在庫など

DWH、BI、レポーティング、帳票など

メール、グループウェア、ブログ、SNSなど

SFA、CRM、コンタクトセンタなど

セキュリティ、ファイアウォール、バックアップ、DNSなど

ファイル共有、プリンタ共有

Oracle DatabaseやMS SQLServerなどを稼働させるサーバ

ECサイト、EDIシステムなど

ActiveDirectoryやOpenLDAPなどを稼働させるサーバ

Lotus Notes/Domino、サイボウズデジエ、Desknet'sDBなどを
利用してユーザ企業自身が作成したアプリケーション

[設問項目(2/3)]

S2系列.導入済みサーバの活用状況

[S1-2]の回答結果から重要度の高い用途を最大3つまで選び、その各用途について以下の各設問を尋ねている。

- S2-1. 導入済みサーバの「導入時期」
- S2-2. 導入済みサーバの「OSの種類」
- S2-3. 導入済みサーバの「ベンダ名」
- S2-4. 導入済みサーバの「CPUタイプ」
- S2-5. 導入済みサーバの「形状」
- S2-6. 導入済みサーバの「用途別サーバ台数」
- S2-7. 導入済みサーバの「導入時の経緯」
- S2-8. 導入済みサーバの「購入先」
- S2-9. 導入済みサーバの「1台当たりの購入金額」
- S2-10. 導入済みサーバの「設置形態」
- S2-11. 導入済みサーバにおける「サーバ仮想化技術の活用状況」(いくつでも)
- S2-12. 導入済みサーバにおいて「導入済/導入予定のサーバ仮想化ソフトウェア(ハイパバイザ)」
- S2-13. 導入済みサーバにおいて「サーバ仮想化環境を管理する方法」
- S2-14. 導入済みサーバにおいて「導入済/導入予定のサーバ仮想化ソフトウェアを選んだ理由(いくつでも)」
- S2-15. 導入済みサーバにおける「サーバ仮想化技術活用の障壁」(いくつでも)
- S2-16. 導入済みサーバへの「システム導入方法」

S3系列.導入予定サーバの検討状況

S3-1. 新規導入や増強を検討している情報処理システム※各用途選択肢の具体例は以下の通りである。

基幹系業務システム:	人事/給与、購買/販売、会計、生産/調達、物流/在庫など
分析/出力系システム:	DWH、BI、レポートニング、帳票など
情報共有システム:	メール、グループウェア、ブログ、SNSなど
営業/顧客管理系システム:	SFA、CRM、コンタクトセンタなど
基本情報インフラ:	セキュリティ、ファイアウォール、バックアップ、DNSなど
部門内利用:	ファイル共有、プリンタ共有
データベース利用:	Oracle DatabaseやMS SQLServerなどを稼働させるサーバ
社外情報システム:	ECサイト、EDIシステムなど
認証管理システム:	ActiveDirectoryやOpenLDAPなどを稼働させるサーバ
簡易作成されたアプリケーション:	Lotus Notes/Domino、サイボウズデジエ、Desknet'sDBなどを 利用してユーザ企業自身が作成したアプリケーション

その他:

S3-1-1. サービス形態での情報処理システム検討(いくつでも)

[S3-1]で「検討しているものはない」と回答した企業に対し、補完的な位置付けのサービス活用がないかどうかを尋ねている。

S3-1-2. サービス形態を予定/検討することになった経緯(いくつでも)

以降の設問は[S3-1]において「検討しているものはない」以外の選択肢を選んだ場合のみ尋ねている。

S3-2. 情報処理システムの新規導入や増強の「実施予定時期」

S3-3. 導入予定サーバの「OSの種類」

S3-4. 導入予定サーバの「ベンダ名」

S3-5. 導入予定サーバの「CPUタイプ」

S3-6. 導入予定サーバの「形状」

S3-7. 導入予定サーバの「用途別サーバ台数」

S3-8. 導入予定サーバの「導入時の経緯」

S3-9. 導入予定サーバの「購入先」

S3-10. 導入予定サーバの「1台当たりの購入金額」

S3-11. 導入予定サーバの「設置形態」

S3-12. 導入予定サーバにおける「サーバ仮想化技術の活用状況」(いくつでも)

S3-13. 導入予定サーバにおいて「導入済/導入予定のサーバ仮想化ソフトウェア」

S3-14. 導入予定サーバにおいて「サーバ仮想化環境を管理する方法」

S3-15. 導入予定サーバにおいて「導入済/導入予定のサーバ仮想化ソフトウェアを選んだ理由」(いくつでも)

S3-16. 導入予定サーバにおける「サーバ仮想化技術活用の障壁」(いくつでも)

S3-17. 導入予定サーバへの「システム導入方法」

次頁へ続く

[設問項目(3/3)]

S4系列.サーバ管理における課題と対策

[サーバ管理の全般的な課題に関する設問]

S4-1. 現在抱えているサーバ管理の課題(いくつでも)

[WindowsサーバOSの活用状況と今後に関する設問]

S4-2. 現在利用しているWindowsサーバOSの機能と役割(いくつでも)

S4-3-1. 今後利用を予定している最優先のWindowsサーバOS機能

S4-3-2. 今後利用を予定している2番目に優先のWindowsサーバOS機能

[「クラウド」というキーワードから想起される製品/ソリューションとサーバ活用との関連に関する設問]

S4-4-1. 活用検討中の「クラウド関連の取り組み」(いくつでも)

S4-4-2. 活用検討中の「クラウド環境の主な所在」

[サーバに付属する管理ツールの活用状況と今後に関する設問]

S4-5-1. サーバ付属管理ツールに関して「ニーズがあり、既の実現できていること」(3つまで)

S4-5-2. サーバ付属管理ツールに関して「ニーズはあるが、まだ実現できていないこと」(3つまで)

[マルチCPU/マルチコアのサーバ活用状況と今後に関する設問]

S4-6-1. マルチCPU/マルチコアのサーバ導入予定有無

S4-6-2. マルチCPU/マルチコアのサーバ導入を予定している理由(いくつでも)

[レガシーなサーバ資産の現状と今後に関する設問]

S4-7-1. 現在も利用中のレガシーシステム(いくつでも)

S4-7-2. 現在も利用中のレガシーシステム数

S4-7-3. 現在も利用中のレガシーシステム開発言語(いくつでも)

S4-7-4. 現在も利用中のレガシーシステムに関する今後の方針

[S2-11]のサーバ単位設問を企業単位に集計したもの

S4-8. 導入済みサーバにおける「サーバ仮想化技術の活用状況」(いくつでも)

価格とお申し込み方法

【価格】125,000円(税別)

【媒体】CD-ROM(分析サマリ: PDF形式、集計データ: Microsoft Excel形式)

【発刊日】2013年7月16日

【お申し込み方法】弊社ホームページからの申し込みまたはinform@norkresearch.co.jp宛にご連絡ください
本レポートのサンプル(調査報告リリース)は下記URLよりご覧いただけます。

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013server_usr_1rel.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013server_usr_2rel.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013server_usr_3rel.pdf

最新刊調査レポートのご案内

ハードウェア、ソフトウェア、サービスなど様々なカテゴリを網羅した多数の年刊調査レポートを発刊しています。
多くのIT企業様が中堅・中小企業市場をウォッチする有効なツールとして購読されています。

2013年版 中堅・中小企業におけるIT投資の実態と展望レポート

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013IT_usr_rep.pdf

ダイジェスト: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013IT_usr_rel.pdf

2013年版 中堅・中小企業におけるERP/BI活用の実態と展望レポート

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013ERP_usr_rep.pdf

ダイジェスト: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013ERP_usr_rel1.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013ERP_usr_rel2.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013ERP_usr_rel3.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013ERP_usr_rel4.pdf

年間調査レポートの一覧についてはこちらをご参照ください。

<http://www.norkresearch.co.jp/result/report.html>

株式会社 ノークリサーチ
調査設計、分析、執筆: 岩上由高
東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705
TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692